

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: http://www.konbukuroike.com

2021年6月

第86号

主な予定

トラップ調査

6月18日(金)～
19日(土)

植物観察会

6月20日(日)

夜の昆虫観察会

(T-Kids イベント)

8月14日(土)

19:00～21:00

トラップ調査

8月20日(金)～
21日(土)

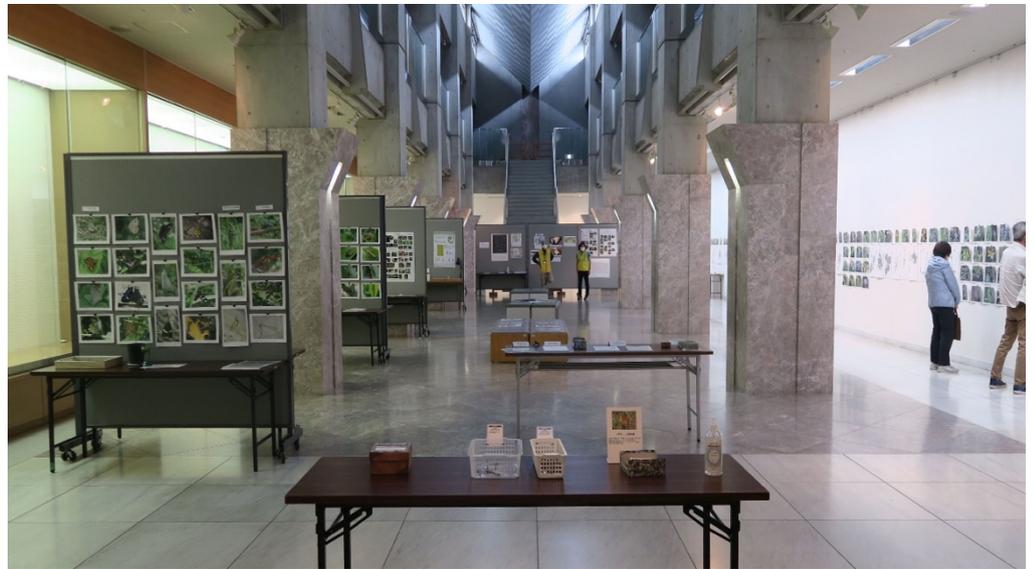
こんぶくろ池展報告書

2021年5月13日～16日

於：さわやかちば県民プラザ

藤原 俊和

1 展示会場



1階県民ギャラリーは、奥行26mの会場。

左側に昆虫と土壌動物、左奥にキノコ、正面に柏歴史クラブと保全関連資料、右壁に植物とこんぶくろ池写真、右入口壁に昆虫写真を展示。



2 展示内容

2.1 昆虫

展示写真119枚＋クリアファイル分、標本箱3個、生きたナミアゲハの幼虫とナナフシモドキ

2.2 キノコ

展示写真24枚＋統計資料＋いろいろなきのこ、テーブル展示写真20枚

2.3 植物

26mの壁一面に、写真と標本の組み合わせ及び写真単独の展示（一部抜粋）：標本 67 個、写真 110 枚



2.4 その他展示品

2.4.1 土の中にすむ小さな生き物達を展示しました。アドバイザーの先生からお借りした昆虫標本には、特に来場者からオナガアゲハに関する貴重なコメントもあり、情報をいただく良い機会となりました。



2.4.2 背景も取り込んだ昆虫の生態を捉えたプロ目線での昆虫写真で、展示会の厚みが増しました。



2.4.3 柏歴史クラブ：掩体壕等

3 ギャラリートーク



3.1 キノコ

キノコはかわいい、美味しいだけじゃない！キノコも森になくってはならない存在という事を参加の皆様と共有できる良い機会でした。子供達の好奇心からは、こちらがエネルギーをいただきました。

キノコ観察会で過去20年間のデータを引き継いでいましたので、なんとかその記録を生かした展示にできないか、と悩みました。グラフに興味を示してくれる方は少なかったですが、ギャラリートークでキノコの生態や森とのかかわりを直接説明することができて良かったです。生きもの同士の繋がりを感じて想像力を膨らませながら、こんぶくろの森を歩いてもらいたいです（と、お願いしました）

3.2 昆虫



アゲハチョウの幼虫が小鳥の糞に擬態していることを、実際の幼虫で解説。来場した子供達の目の前で脱皮をし、終齢となったアゲハの幼虫。



漢字の成り立ちから、「虫」とは何であったかを考える。

3.3 植物



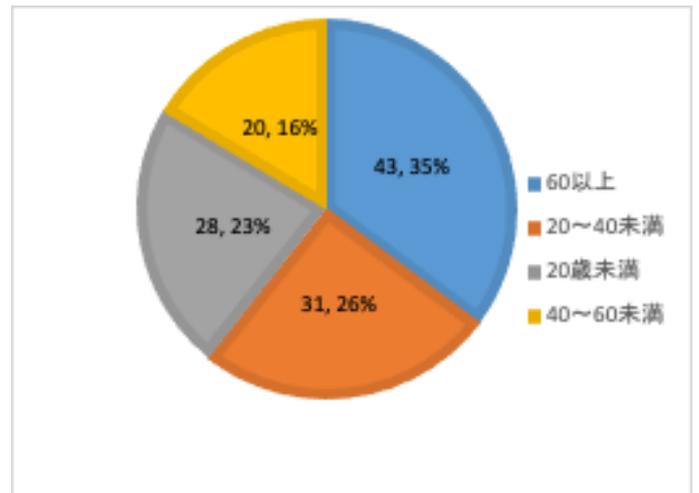
植物標本の作成手法は貴重な実践的な内容でした。中でも非常に稀少となっている植物を、標本にするか翌年以降の生育を期待するかについては、「迷うことなく標本として残さない」というアドバイザーの先生からのご意見があったことは、非常に強く印象に残りました。

4 来場者アンケート



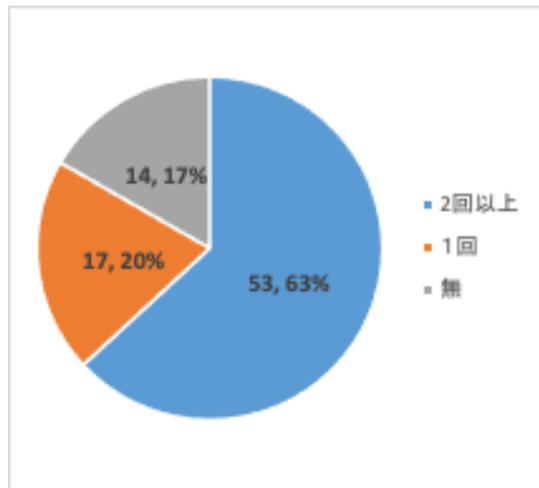
お住まい

柏市の来場者が予想より少ない印象。ご感想にも書かれていますが、柏市あげての持続可能な社会の構築に注力を・・・。



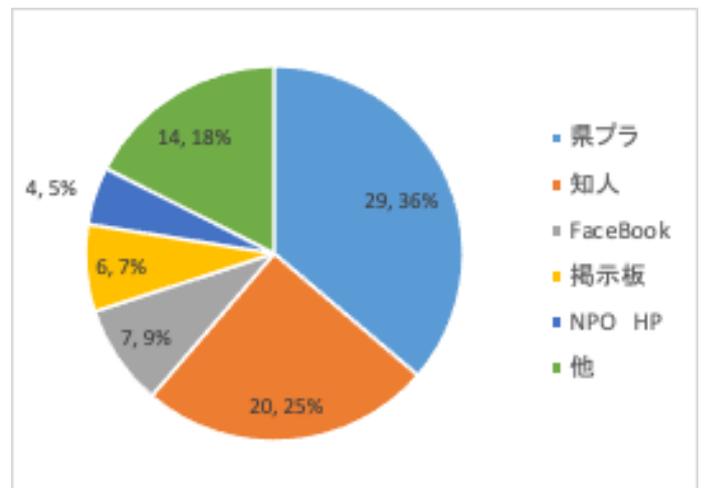
年齢（同伴者含む）

昆虫・キノコ関連の展示があった事から、高齢者の比率がさほど高くなく、親子連れのご家族が多かった印象通りのデータとなっている。



こんぶくろ池自然博物館 来園回数

観察会での統計数字よりかなり高いご来園の比率となっている。ある程度興味を持った方のご来場が多かったと推測される。



情報源

今回、柏市の広報には掲載せずに、最近の観察会と比べかなり多方面へのチラシを配布・展示を行ったが、会場や知人からの情報が多く、日頃からの広報活動はまだまだの印象で、特にネット社会への地道な継続が必要。

4.1 来場者ご感想の抜粋

- ・ 是非また、もう少し長くやって下さい。
- ・ 美しい植物の写真がたくさんありました。
- ・ 昆虫の顔が近くでじっくり見られたり、キノコの役割が知れ、貴重な体験できました。
- ・ こんぶくろ池へ行って虫探ししてみたいです。
- ・ 実際に幼虫と触れる事ができよかった。
- ・ 多種多様でおどろいた。

- いつまでも続きますように。
- 調査結果がわかりやすく勉強になりました。
- 地域でもっと注目されるべきオアシスだと思います。
- 地域の自然を守る活動は素晴らしい、応援します。
- とても面白い展示でした。
- 草花の写真と押し花を並べての展示、花の大きさがよく理解でき、嬉しかったです。
- 何度もこんぶくろ池に通っていますが、より楽しくなりそうです。
- これほど整備されて、豊富な動植物があるとは・・・感動いたしました。時々足を運びたいと思います。
- 種類が多いのにびっくり、機会あれば観察会に参加したい。
- 柏市をあげて生態系、昆虫の保全に興味を持って欲しい。
- ちょうちょが、ピカピカしてきれいだったです。
- 珍しい植物が柏にもたくさんいるのがびっくりしました。
- 沢山の写真や標本があり見ごたえがありました。
- 沢山の花があることを知り、今度よく見ながら散歩します。
- 幼虫のお話おもしろかったです。
- すばらしく美しい写真を見せて頂きありがとうございます。
- 細部まで観察できるのがうれしかったです。多くの方が手をかけられていて、残して頂きたい環境です。
- 自然の豊かさ貴重さに改めて感じる展示でした。

5 主催者感想・今後の改善点

5.1 ギャラリートーク担当者

- こんぶくろの様子を見て頂けただけでなく、来場者の皆様から情報も頂ける交流の場となりました。
- まだまだこんぶくろ池自然博物公園の場所が分かりづらいという事もわかりました。
- 行けば必ず出会えるというものではないこんぶくろ池の昆虫の姿を、少しでも感じていただけたのは良かった。

- 擬態の説明用にアゲハの幼虫やナナフシモドキを展示したが、想像以上にお客様の反応があり、説明や写真だけでは伝わらない、生き物の持つ力の強さを改めて感じた。
- 機会があれば、次は是非みんなで持ち寄った写真を撮影者の氏名付きで展示できると良いと思う。
- こんぶくろ池に行ったことが無い、という方も多くいたので、行くきっかけになったのではないかと感じました。
- 県民プラザの利用者が多い時期であれば、誘導方法によってはもう少し来場者が増やせたかもしれません。
- 来場者は少な目でしたが、本当に興味を持っている方が多く、中味の濃い交流が出来たと感じました。

5.2 企画取りまとめ者

- 環境問題・感染症問題等、予想も出来なかった事が起こりうる時代となった現在、当 NPO として基本動作を遵守しながら、創意工夫で、生物多様性に一人でも多く触れて頂くきっかけになれば、との思いで企画した展示会でした。
- 詳細な（花の構造・和名の由来や虫の特徴・不思議さ等）説明を入れる展示方法もありましたが、多様で数量にも重きを置いた展示内容をコンセプトとした結果は、当園は多様な生物に富んだ森であることを伝えられたのではと感じています。
- ご来場数は、4 日（実質 3 日間）で 175 人と当初の計画値の半分程度でありましたが、来場者のご感想を拝見して、上記の私共の思いをご理解して頂いている方々が、多数いらっしゃるのを再認識出来た事が、大きな収穫でありました。
- 時期的な内容が主因と思われそうですが、都市郊外の森でありながら豊かな自然と保全について、一挙に学ぶ教材を見る機会は少ないと思います。もっと子供達（小学校の児童達）に見て欲しかった思いは残りました。

5.3 改善点

- 展示会場を広く使用する計画から、左側のガラスケース前面に展示パネルを置いた事から、昆虫・キノコの展示は照度が不足した状態となった点、会場設営の検討に改善の余地を残した。
- 県民プラザでも、2 階の回廊ギャラリーは全て壁面展示となり照明の問題は改善でき、ギャラリートークのやり方を工夫すれば、会場の床面積はかなり小さくなるが展示面積は同程度あり、今後の検討余地がある。



今回の主役となった、ナミアゲハの幼虫と一緒に最終日終了後の集合写真

動画「歴史めぐり街歩き」制作から史跡整備へ

浦久 淳子

2020年12月、展覧会「柏飛行場と秋水 - 柏の葉 1945-2020」の展示のために、動画「歴史めぐり街歩き」が制作されました（東京藝術大学・三井不動産㈱主催）。これは第二次世界大戦時の柏飛行場関連の史跡をめぐる動画で、こんぶくろ池自然博物公園でもロケを行いました。現在もYouTubeで公開されており、多くの方に見ていただいたようです。また、この動画をきっかけに公園内の史跡の整備が動き始めるなど、予想しなかった反響もありました。経過を報告します。

秋水燃料庫2号基の整備

整備へ進み始めた史跡の一つが秋水燃料庫です。2010年以降、柏の葉周辺で確認された燃料庫は5基。「すべてを残すのは費用がかかるため移設などは行わず、公園内に残る2号基を土中から掘り出し、公開する」と2016年に柏市は方針を決めました。ただ、具体的な整備案は未定だったため、NPOの岡本昇会長が、昨年末に柏市緑政課（現：緑地課）に働きかけられました。その時点で、燃料庫の正確な位置を地図上に落とす必要があることがわかり、2021年3月、位置確認のための試掘が実施されました（写真①）。

この動きをうけて5月、柏歴史クラブから柏市教育委員会文化課へ、具体的な整備についての要望が伝えられました。今後は一般公開に向け、できるだけ早く園路から秋水燃料庫に至る全体設計の策定が望まれます。

東側半壊掩体壕の整備

もう一つの史跡は掩体壕です。すでに整備された掩体壕（図③の青丸）は多くの方に見学していただいています。少し東に半分だけ残っている掩体壕があります（写真②、図③の赤丸）。現在アズマネザサで覆われており、「ここも整備してはどうか」とNPOから提案がありました。

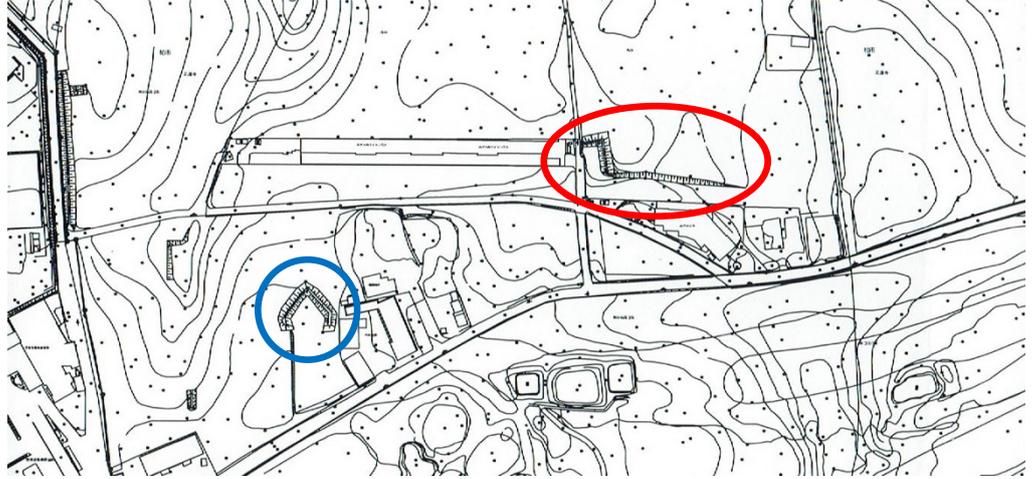


① 秋水燃料庫の位置確認のための試掘（2021年3月5日）



② 未整備の東側掩体壕（下図の赤丸）

秋水燃料庫と同様に柏市に打診していただいたところ、「伐根しないのであれば、通常の除草で問題はない」との回答があったとのこと。ただ、「植生管理などの問題があるため、引き続きNPOでも検討していきます」とうかがっています。



③ 掩体壕周辺の地形図。青丸が既に整備されている掩体壕、赤丸が未整備の半壊掩体壕

新入会員紹介

田中 博文さん

開発が進められ、止まらない地区において、奇跡的に残された自然であり、守り続ける事が地域に住む人間の使命であると思いました。

趣味・好きなこと：ランニング（ハーフマラソン大会参加まで）、読書（歴史・市井小説）

貢献できそうなこと：建設マネジメント

取り組んでみたいこと：里山の保全

ひとこと：「こんぶくろ池」の自然を次世代にきちんと受け継げる様に微力を尽くします。



令和3年春季 こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

俳句の部

湧水の木橋木道青葉風	荒木甫 (はじめ)
小紫いろににおひし藤の花	イチケンサンバ
猛々し指に刺さりしおにあざみ	悦
新緑にうぐいすのこえ冴えわたり	悦
患者には希望のよすが花つつじ	悦
靴底に花びら二枚春おわる	悦
桜散るまでにコロナを退治せよ	H・O
菜花咲き汗を流して畑仕事	権兵衛
冬野菜蕾開いて春来たり	権兵衛
散歩道山茶花散りて椿咲く	権兵衛
タンポポやトーチに見立てリレーの炎 (ひ)	サンディ
春風に道着つけたるナラ枯れ木	昇多
ランドセル不要になった孫娘	昇多
春風に心洗わるこんぶくろ	はやぶさ2
風光る紫のなみ藤の花	山武
風薫る森に色づくアズキグミ	山武
薫風やうぐいすかざら赤青黄	山武
あおぞらにみどり葉映える藤むらさき	秀夫
揺れる木洩れ日にキンランの煌 (きら) めきて	わらしべ

短歌の部

キンランの木洩れ日受ける姿こそ	
まことの金より美しきかな	かわせみ
純白のキンランの花の潔さ	
あなた会うと背筋が伸びる	かわせみ
人の世の憂いを知らぬキンランの灯	
聖火 (トーチ)のごとく木陰を照らす	かわもこ
十坪ほど肥料施し鍬を入れ	
色々植えて豊作夢見	権兵衛
渡り鳥いつの間にか姿消え	
河原の肌が緑濃くなり	権兵衛
フキノトウタラの芽摘みて夕膳に	
ぬる爛香るトリプル香る	ノー・ボール
コロナ禍で二年続きのミニ総会	
滞りなくすみてひとり酒	ノー・ボール
青白く波を立てたる西の月	
オレンジ色の来光待ちわび	秀夫
こんぶくろ池を覆いし新緑の	
光につられ筍の伸ぶ	わらしべ

あしがき

コロナ禍第3波に対し、国は主要地域に非常事態宣言を発する中、今回は、延べ14名の方から俳句十九句、短歌六首が寄せられました。

前回はさらに上回り、今まで最高の応募者数、作品数です。

内容的にもさらに充実し、森羅万象に春を感じ、作者の個性に応じて湧きいずる想いが率直に表現され読者の心を打ちます。

このことは「こんぶくろ池自然の森」の同胞の皆さんの熱心な活動と、この森をこよなく愛する市民の皆さんの応援の賜物と感謝し、俳句・短歌の輪がさらに広がることを期待するものです。

今回は夏季（6月～8月）になりますが、投稿箱への投稿や世話人あてのメール等々で気軽に応募してください。お待ちしております。

5月理事会

(日時) 2021年5月22日(土) 13:00～16:00

(出席者) 岡本、上田、藤原、中川、萩原

1. 審議検討・確認事項

(1) 「こんぶくろ池公園植生管理計画(最終版)」

- ・ ゾーンエリアの区分、倒木の取り扱い等が織り込まれ、コリドーエリアは落葉広葉樹林モデル(B)として管理。
- ・ 特に落葉広葉樹林モデル(B)に関して小面積の更新伐採が記載されているが、伐採が業者扱いとなる大径木も含め管理システムの構築が必要(アドバイザー会議等で先生方に判断して頂く必要性等)。本年度は、NPOとしてはナラ枯れ対策実施した弁天池周辺・掩体壕の2か所を対象として着手する事を提案し、柏市からの連絡待ち。
- ・ 10m角のコドラート設置モニタリングは、NPO主導ではない事確認。
- ・ 旧ホテル含む南側のアズマネザサ刈りを実施するに当たり、柏市とNPO両者による立ち合いにて、刈り取り範囲等についてコンセンサスを得つつ作業をすすめるように柏市に申し入れる。
- ・ ハリエンジュ対策について、グリホサート剤については公園緑地課の反対の意向が強い。先方が推奨する「林種転換案」を進める上での課題の洗い出し必要。NPOとしては、園路周辺の対象木の本数を6月合同活動日までに概略把握(調査班)。6月合同活動日以降に「伐採」および「巻き枯らし(環状剥皮)」の候補木検討を行う。

正面入口外の公道に面した部分の対象木の伐採は、柏市に依頼済み。

(2) 会員の方々からの提案

- ・ 子どもの休憩・遊び場所の作製：

有志活動で、木材は伐採木の流用としている等、基本案は問題ないが、最終決定は具体的な提案内容の確認後とする。

- ・ 園内休憩所：

ベンチのみで園内3か所とし、提案のあった掩体壕入り口のベンチは見送る。ベンチ設営スケジュールは今後検討する。

(3) 自宅作業にて発生する印刷物の対応

広報資料として紙印刷は、定期的な花暦・イベントスケジュール等の外部への委託展示等重要なものであり、プリントの品質向上・エコな補充タンク式・A3対応等を考慮して、見積もり比較し新規にプリンターを購入する方向とする。今後、自宅作業の印刷物は個人レベルとして扱う（特に、インク関連）。

(4) 「美しい手賀沼を青する市民の会（美手連）」への参加

活動実績・当NPOとして参画する意義は何か、当NPOに求める事は何か、夫々を確認しご回答後検討。

(5) 【T-KIDS】夏のイベント（夜の昆虫観察会）参加

- ・ 8月14日（土）19:00～21:00にて決定。
- ・ 発電機等の動作確認含めて事前観察会を計画。里山班からもライトトラップ隊として参加頂きたい。
- ・ その他、昆虫の標本等を用いた子供向け特別セミナーのフリーディスカッションを別途T-KIDS側と行う。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

編集後記

コロナ第3波で、緊急事態宣言が続いている地域も多くありますが、なんとかこれまでNPOから感染者が出ることもなく、活動を続けてこられたのは本当に良かったです。やっとワクチン接種のスケジュールが見えてきたところですので、もう少しの辛抱でしょうか。

さて、この様な環境下、手探りしながらの準備ではありましたが、先月は「こんぶくろ池展」を無事開催することができ、調査班を主体にご準備いただいた皆さん、また開催期間中に手伝っていただいた会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。また素晴らしい展示をありがとうございました。こんぶくろ池自然博物公園の魅力に気づいてくださった新しいファンを獲得することができたと思います。

8月はまたT-Kidsと「夜の昆虫観察会」を開催する予定です。引き続き会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。（萩原秀夫）